

一生自慢できる体験 ～アウトリーチ事業～

12月12日(木)5校時に、本校にプロのヴァイオリニスト松本蘭(まつもとらん)さんと酒井有彩(ありさ)さんを招いてコンサートが開かれました。嬉野市文化振興事業のアウトリーチ事業で、生徒たちは少し遅めの芸術の秋を堪能しました。

ヴァイオリンをはじめ多くの楽器が自然素材からできていることの紹介から始まり、小鳥たちのさえずりを想わせるハイドン作の「ひばり」やヴァイオリンとピアノが会話しているように聞こえるモンティ作の「チャルダッシュ」など、音楽の持つ力を身体全体で感じさせてもらいました。その後、小学校の頃から音楽の時間などにヴァイオリンの手ほどきを受けた小中学生の代表が、お二人のプロとパッヘルベル作の「カノン」を共演させていただきました。

コンサートを終えたお二人に、中村靖太郎さんと峯汰一さんから感謝の花束が贈られ、「一生自慢できる思い出になりました」と、お礼の言葉述べました。

